

Feel the arts

伝国の杜 だより

ANNIVERSARY

伝国の杜 10TH
DENKOKU NO MORI

米沢市上杉博物館
置賜文化ホール

Autumn2011 | Vol.20

開館10周年記念号②

開館十周年記念
特別展

洛中洛外図屏風に

描かれた世界

国宝 上杉本洛中洛外図屏風
重要文化財 舟木本・林原本 展示

会期 二〇一一年十月八日(土)

十一月六日(日)

休館日：十月二十六日(水)
※会期中一部展示替えがあります。



開館10周年記念特別展

洛中洛外図屏風に描かれた世界

京都市中と郊外を題材とした数ある洛中洛外図の中で唯一の国宝「上杉本洛中洛外図屏風」を伝えてきた米沢で、その世界を広く、深く理解し、堪能する展覧会。戦国時代を代表する上杉本、慶長年間(1596～1615)に描かれたとされる緊張感や躍動感に満ちた舟木本(東京国立博物館)、元和年間(1615～24)の徳川氏による安定的幕府支配をテーマとする林原本(林原美術館・展示期間10/22～11/6)などをそれらに関連する文化財とあわせて展示します。また、高精細デジタル画像で細部までクリアにみることのできる検索装置も準備します。これによって新しい発見もあるかもしれません。



林原本洛中洛外図屏風(右隻) 林原美術館 <展示期間10/22～11/6>

◆入館料

一般700円(560円) 高大生450円(360円) 小中生300円(240円) ※〇は20名以上の団体料金
※本展覧会は常設展示室と一体で開催しますのでこの金額で全館ご覧いただけます。

◆会期

2011年10月8日(土)～11月6日(日) 休館日:10月26日(水)

※会期中一部展示替えがあります。



上杉本洛中洛外図屏風(右隻) 米沢市上杉博物館

◆講演会

①「洛中洛外図屏風上杉本の人々・装いは何を語るのか」

講師:佐多芳彦氏(立正大学文学部准教授)

10/9(日)13:30～15:30

②「洛中洛外図屏風とその読み方」

講師:黒田日出男氏(立正大学文学部教授)

10/16(日)13:30～15:30

※いずれも伝国の社2階大会議室
聴講無料 先着120名

◆ギャラリートーク(当館学芸員の展示解説)

期日:10/8(土)・10/22(土)・11/3(木・祝)

※いずれも企画展示室 14:00～15:00 ※要特別展入場料

連携事業<詳細4P参照>

鈴木広志(sax)ソロ・コンサート

10/8(土)13:30～14:00/15:30～16:00(2回公演)

入場料:特別展入館券が必要です。(一般700円ほか)

開館10周年記念

企画展

本間国雄 ～旅に生きる～

11/12(土)～1/15(日)

休館日:11/24(木)、12月～1月は毎週月曜

(祝日の場合翌日)、年末12/26～12/31 ※1/1～1/3は休まず開館

入館料:一般200(160)円

高大生100(80)円 小中生50(40)円

米沢出身の本間国雄は大正期には洋画家として活躍、岸田劉生、萬鉄五郎らとヒュウザン会の結成に参加するなど、中央美術界を舞台として活動しました。一方で新聞社の美術記者としても活動し、岡本一平、北沢楽天らと東京漫画社を興すなど多様な活動を行っています。その後「逸老庵」の号をもって水墨画家へ転向、水墨の画風に独自の表現を見出しました。本展覧会では本間国雄の多様な仕事の中から、館蔵の「水墨日本風物抄」(全62図)を中心に紹介します。



水墨日本風物抄 雨後の山

開館10周年記念

企画展

よみがえる赤羽刀 ～米沢ゆかりの刀剣～

1/28(土)～3/4(日)

休館日:毎週月曜(祝日の場合翌日)

入館料:一般400(320)円

高大生300(240)円 小中生200(160)円

第二次世界大戦後、連合国軍(GHQ)によって刀剣類の接収が行われ、その多くが海外流出や海洋投棄になったといわれています。接収された一部が赤羽(現東京都北区)にあったアメリカ第8軍兵器補給廠に集積されましたが、昭和22年、当時の刀剣関係者の尽力により、この中から美術的価値のある刀剣については返還、平成7年には法律の改正もあり全国の公立の博物館等へ無償譲与となり、活用・公開されることとなりました。当館では、郷土刀 加藤系、赤間系を中心に37口の譲与を受けています。本展覧会では、修復を終え、よみがえったこれらの刀剣を初公開いたします。



常設展示室

上杉文華館

～国宝「上杉家文書」に記された贈答～

「贈答」をテーマとした展示を行っています。国宝「上杉家文書」から贈答品をはじめ、贈り贈られる人々のすがたや贈答の機会などを具体的に紹介し、時代の特徴や変化、地域性などを明らかにしていきます。関連する資料も可能な限り展示していきます。「国宝上杉本洛中洛外図屏風(複製)」も展示します。

◇文化を支える

9/29(木)～10/7(金)、

11/7(月)～11/23(水祝)

※10/8(土)～11/6(日)は特別展の一部になります。

◇お歳暮

11/25(金)～12/25(日)

◇新春のお慶び

1/1(日祝)～1/29(日)

◇武家として

1/31(火)～2/26(日)

◇贈り物あれこれ

2/28(火)～3/25(日)

◇贈り物が必要なとき

3/27(火)～4/24(火)

※コレクショントーク(展示解説)の日程は8ページ参照

たいけん・はっけん・ものづくり



プレイショップ

体験学習室で
やってみよう



マンフリー造形体験メニュー

- 10月 ハニカム紙でつくろう
- 11月 オリジナル年賀状づくり
- 12月 手で見えるギャラリー1
デザイナーズチェアを楽しもう4
- 1月 和紙でつくろう鬼の面
- 2月 手で見えるギャラリー2
彫刻をかんじる
- 3月 ふしぎふしぎぐによっぴー

無料で
体験できます。
(体験お休みの
日もあります)

簡単な造形を通して
ものづくり・発想の
たのしさを



募集制 ワークショップ

ピックアップ

ナイトツアー ようこそ夜の博物館へ

「本間国雄の世界」

「刀剣の魅力に迫る」

12月9日(金)19:00～

2月10日(金)19:00～

高校生以上 20名

高校生以上 20名

参加費:500円

参加費:500円

*募集開始11/9(水)～

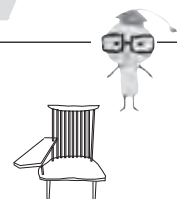
*募集開始1/18(水)～

夜の博物館で展覧会をゆっくり鑑賞してみませんか？

*募集制ワークショップは1ヶ月前から申込受付。
その他のプログラムは8ページをご覧ください。

手で見えるギャラリー (12月、2月)

座って、触って、デザインやアートを感じよう。
かたち、手ざわり、使い心地…
五感で感じる小さなギャラリーです。



ミュージアムスクール・出前授業

洛中洛外図屏風のレプリカや
郷土作家の作品を教室で！
お気軽にご相談ください。

問合せ：
教育普及担当
0238-26-8001

収蔵品 学芸ノートから

刀 銘：加藤綱英於東都作之／
文化七庚午年五月日

一振
文化七年(1810) 五月
長さ70.5cm 反り1.6cm 孔1個

今回ご紹介する刀は、昭和20年(1945)に連
合国軍総司令部(GHQ)に接收されていた『赤羽
刀』です。当館では平成11年(1999)に国から
の譲渡を受け、順次修復をすすめてきました。

加藤綱英(助四郎)は、出羽国出身の水心子
正秀の門人加藤勘四郎国秀の長男。出羽国
米沢、上杉家のお抱え鍛冶です。初め北窓治春
六代目鈴木治国に学び、後に水心子正秀の門人
となりました。弟である長運斎綱俊とともに江
戸に上り、一派をなしています。この刀も文化
七年(1810)に江戸で作刀されています。
造り込みは鍋造り、棟は庵棟、刀身の中心に反
りの中心がある華表反りで、肉置がよく、地鉄
は小板目肌よく詰み、地沸えも見られます。茎は
化粧付大筋違鑢。刃文は匂出来に小沸つき、直ぐ
の焼き出しに湾れに互の目交え足入り、いかにも
整然とした綱英の作刀の特徴が表れています。

ホール催事案内 ▼

- ・掲載の内容は追加・変更となる場合があります
- ・チケットの発売方法、発売開始時刻など詳細な情報は、各公演チラシをご覧ください。
- ・伝国の杜ファンクラブ会員は、一部の公演を除きおひとり様2枚まで1割引で購入できます。ご入会等詳しくはお問合せください。（年会費は一般2,500円です。）

屏風ライブシリーズ・ファイナル公演！

開館10周年記念・特別展「洛中洛外図屏風に描かれた世界」連携事業

鈴木広志グループ・ライブ「屏風から飛び出る音楽！」 “Music For BIOMBO 2011”

2011.10.16 (日)
15:30開場 16:00開演

全席自由 一般2,500円 学生1,500円(当日各500円増) ※FC会員割引あり
※未就学児の入場はご遠慮ください。託児有(要事前申込)
出演：鈴木広志(sax他)、大口俊輔(pf, accordion)、東保 光(b)、小林武文(per)
大場陽子(作曲) スペシャルゲスト：徳澤青弦(cello)

鈴木広志グループの4人と作曲家 大場陽子が国宝「上杉本洛中洛外図屏風」と向き合い、屏風から受けた印象を作曲しました。この5つの組曲を、博物館の秋の特別展(表紙、2P参照)に併せて再演します。

今回はanonymassや「ボツネンの音楽」のチェロ奏者/作曲家 徳澤青弦がスペシャルゲストとして参加。屏風シリーズファイナル公演お見逃しなく！

こちらでもぜひどうぞ！

特別展「洛中洛外図屏風に描かれた世界」連携事業 **鈴木広志(sax)ソロ・コンサート**
10/8(土)13:30~14:00/15:30~16:00(2回公演) 会場：上杉博物館企画展示室
入場料：特別展入館券が必要です。(2P参照)

演奏前には学芸員のミニギャラリートークも。展示されている洛中洛外図屏風が描かれた時代に作曲された曲や、鈴木広志が上杉本のために作曲した曲を演奏します。展示室にどんな響きが広がるのか、お楽しみに！



◆東京公演 「屏風と音楽〜く国宝」上杉本洛中洛外図屏風から生まれた音楽を聴く」
11/20(日)15:00 めぐろパーシモンホール 小ホール 全席自由 一般3,000円 学生1,500円
お問合せ めぐろパーシモンホール 東京都目黒区八雲1-1-1 電話03-5701-2913

米沢で生まれた組曲『国宝「上杉本洛中洛外図屏風」を聴く』が、ついに東京公演！関連ワークショップも充実。詳しくはホームページをご覧ください！<http://www.persimmon.or.jp/>

能舞台 10年間の集大成

置賜文化ホール開館10周年記念 能楽振興事業
金剛流能公演

2011.11.12 (土)
13:00開場 13:30開演

置賜文化ホール「能舞台」
A席(正面指定)3,500円 B席(脇指定)3,000円
自由席一般2,500円 自由席学生1,500円(当日各500円増)
伝国の杜、大沼米沢店、イオン米沢店にて好評発売中
※4才以下のお子様の入場はご遠慮ください。
未就学児の託児有(要事前申込)



能楽シテ方金剛流宗家の金剛永謹、ならびに狂言方 和泉流人間国宝の野村萬を始めとして豪華な出演陣でお贈りする能公演。宝くじの収益金による助成を受け、低価格の入場料金が実現しました。
公演では、演能に先立ち、6月から稽古を積んできた「100人で鶴亀を謡う会」が、能舞台に100人で上り迫力満点に謡います。また、地元の小学生が和泉流こども狂言を披露します。地域の宝として愛される「能舞台」の10年目を祝うムードあふれる会場で、錦秋のひとときに相応しい艶やかな装束にもご期待ください。



一日中、吹奏楽に浸ってみる！

おきたまの秋空に響け！
吹奏楽の日コンサート2011 2011.10.2 (日)
9:30~16:00

会場：ホールとピロティ(大屋根の下)
入場無料

ホールと屋外特設ステージ2会場で同時進行するコンサートは、国民文化祭(2003年)をきっかけにスタートした“置賜方式”。小学生から社会人まで大小さまざまな吹奏楽団が出演します。

《参加団体》米沢西部小、米沢一中、米沢二中、米沢三中、米沢四中、米沢五中、米沢六中、米沢七中、米沢南原中、川西中、飯豊中、米沢興譲館高、置賜農業高、小国高、米沢東高、南陽高、長井工業高、米沢商業高、米沢工業高、九里学園高、山 大工学部米沢女子短大吹奏楽団、KTYウィンドアンサンブル、おきたまシンフォニックサウンド、倶楽部、アンバーサリーバンド、米沢吹奏楽愛好会、アンサンブルワーク、アンサンブルリオーネ、リフレグ サクソフォニカルテット(順不同)



生のオーケストラは大迫力！

親子でたのしむ音楽会 2012.1.29 (日)
～米沢のアマチュアオーケストラによるコンサート～ 13:30開場 14:00開演

ホール
全席自由 高校生以上 前売500円 当日800円 中学生以下無料
12/15(木)一般発売 12/7(水)FC会員先行予約 ※FC会員割引なし
出演：竹谷智(指揮)、米沢東高音楽部、山形大工学部・米短アカデミーストリングス合奏団
米沢フィルハーモニー管弦楽団ほか

小さな子どもたちにも本格的なオーケストラの迫力を楽しんでほしい！米沢を拠点に活動する高校生・大学生・社会人オーケストラがひとつになり、「アンパンマン」のテーマなど聴いても歌っても楽しいプログラムをお届けします。指揮にも挑戦してみよう！



世界最高峰のプラスの響き！

プラスクインテット・ウィーン＝ベルリン

2012.2.2 (木)
18:00開場 18:30開演

指定席3,000円
自由席一般2,500円
自由席学生1,500円(当日各500円増)
11/10(木) 一般発売
11/2(水) FC会員 先行予約
未就学児の入場はご遠慮ください。
託児有(要事前申込)



G. タルケヴィ/G. ジェル(以上Tp, ベルリン・フィル)/T. イェプストル(Hr. ウィーン・フィル)/D. キューブルベック(Tb, ウィーン・フィル)/C. ギグラー(Tuba, ウィーン・フィル)

曲目(予定)
マルコム・アーノルド金管五重奏曲
ジャイルズ・ファーナビー：空想、おもちゃ、夢
レナード・バーンスタイン：ダンス組曲
アストル・ピアソラ：タンゴ組曲
イエネ・フバイ：チャルダッシュの情景第4番「ヘイレ・カティ」他

開館の年以來の“おかえり”公演！

芸歴60年 桂 歌丸独演会

2012.2.19 (日)
18:00開場 18:30開演



全席指定3,500円(当日4,000円)
12/8(木) 一般発売
11/30(水) FC会員 先行予約
未就学児の入場はご遠慮ください。
託児有(要事前申込)

人気長寿番組「笑点」(日本テレビ系)に第1回から参加、今や番組を“背負って”「大喜利」司会席に座り、軽快なテンポで番組一の人気コーナーを仕切ります。一方で、数々の業をこなすバイタリティーで落語芸術協会会長として不動の信頼を得る歌丸師匠は、2002年の公演以來、今回が9年ぶり2度目の登場です。嘶家として芸歴60年の節目となった今年、全国での公演に参加し、益々お元気に活躍中。そんな歌丸師匠の人気の理由は、初めて来館の折に触れた温かいお人柄があると、伝国の杜スタッフは思っています。

どうぞ歌丸師匠に会いに、独演会にお運びください！お好きな席はお早目に。

チケットはどうやって買うの？

①伝国の杜の事務室で販売中！

能舞台の右手奥に事務室があります。ご希望の公演をスタッフにお申し出ください。

②電話でも予約ができます！

0238-26-2666までお電話ください。郵送もいたします！

③市内プレイガイドでも販売！

公演によってはプレイガイドでお預かりいただいているチケットもあります。

ticket

※チケット購入後は主催者の都合で
公演が中止される場合を除き、
払い戻しはできませんのでご注意ください。

こども狂言クラブ

地元の学校に通う小学生以上のこどもたちが
プロの狂言師の指導のもと、能楽の文化に触れています。

10年間の主な歩み

平成13年9月 能舞台を備え置賜文化ホール開館
平成14年3月 「萬狂言こども公開ワークショップ」全2回
平成16年3月 「狂言の杜」発表会
平成16年4月 クラブ化を目指し支援の動き
平成16年9月 「山形県能楽の祭典」出演(毎年出演)
平成17年6月 「伝国の杜こども狂言クラブ」活動開始
平成17年7月 支援団体「狂言クラブうきたむ」発足
平成18年3月 クラブ初の発表会(毎年春分の日に開催)
平成18年9～11月 市内小学校3校で発表
平成20年4月 対象年齢を拡充
置賜各地での発表、式典等での披露、上杉まつりや雪灯籠まつりでの発表、春の発表会など、たくさんの成長の機会をいただいています。



これからの発表予定(8ページのカレンダーにも記載)

平成23年10月16日 「山形ふるさと塾フェスティバル」
11月12日 「開館10周年記念能」
12月3日 「置賜こども芸術祭」
平成24年3月20日 春休み発表会を開催

2012冬コース(無料体験)の参加者を募集

内容：2012年3月20日の発表会で「きのこ」役のこどもたちを募集。3～5回の稽古を経て、出演していただきます。
対象：4才から小学2年生まで
受付期間：12/1(木)～12月末
受付方法：伝国の杜にて電話受付



2012春 開講クラスの参加者を募集

内容：狂言を通して和の文化を学ぶ「こども狂言クラブ」に入会。狂言師とともに稽古を開始します。
対象：小中学生(新規の方) 料金：年間2,000円
受付：3/1(木)～電話受付



座の文化伝承館から(児童会館隣り)

かっ ぱ どう

河童洞コレクション②

ー郷土玩具の楽しみ方ー

平成23年10月12日(水)～10月19日(水) 休館日 10月18日(火)
開館時間 9:00～17:00(入場は16:30まで) ※入場無料

郷土玩具コレクションを紹介する第二弾です。素朴で温かい魅力いっぱいの玩具から日本各地の風土を感じて下さい。



「秋山庄太郎 & 写真芸術協会」展

秋山庄太郎の「日本列島一花行脚」

主催 秋山庄太郎写真芸術館、秋山庄太郎写真芸術協会、
米沢市教育委員会、米沢上杉文化振興財団

10月22日(土)～10月31日(月)

座の文化伝承館・蔵

開館時間 9:00～17:00(入場は16:30まで)

休館日10月25日(火)

※入場無料

「秋山庄太郎記念米沢市写真文化賞」受賞作品展にあわせ、米沢市所蔵の秋山庄太郎の代表作品群『花一365日』所収の名作の数々をはじめ、昨年設立された「秋山庄太郎写真芸術協会」会員作品を展示します。



H13.6 施設の愛称決定。

応募総数は1544作品。

「伝国の館」「上杉の杜」「なる館」などから最終的に「伝国の杜」と決定。



当初は左側の丘に大きな木が...

H13.9.29 開館

上杉鷹山公生誕250年
上杉氏米沢入部400年祭
YOZANフェスティバル
の開幕と同時に開館。



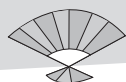
金剛流と観世流の柿落とし公演を開催。



博物館は開館記念特別展「上杉家の至宝」

H14.3

現在活動中の「伝国の杜こども狂言クラブ」のきっかけとなる「萬狂言こどもワークショップ」開催。公募で集まったこども狂言師がプロと共演。



H15.8
伝国の杜前に
ポスト設置。



H15.10.10/4~13

国民文化祭やまがた開催

皇太子殿下ご夫妻もご来館されました。
これを機に毎年能楽の祭典、
吹奏楽の日コンサートを開催。

H16.3 こども狂言ワークショップ 第一回発表会



高校、大学に通う人も出て、小学生たちの指導をする立場に。

ホール公演のチケット求めて徹夜で並ぶ方も。
チケットが一時間で売り切れる
こともありました。

H17.春 博物館 チルドレンキュレーターズ 活動スタート

こども学芸員の育成開始。



H17.春 伝国の杜サポーター 募集開始

さまざまな面で
ボランティアさんの
ご協力を頂くようになりました。



H18.元日開館

この年から
初詣帰りのお客様をお迎え。



伝国

置賜文化ホール

10年の

■ミュージアムショップ

★新しい図録★

開館10周年記念特別展
洛中洛外図屏風に描かれた世界

上杉本をはじめ、代表的な洛中洛外図屏風を集めた展覧会図録。屏風のほか、ゆかりの人物をめぐる文化財、画面に描かれた調度品などの図版が満載。屏風に描かれた世界をよりリアルに、身近なものとして理解できる1冊。洛中洛外図研究の最前線を示した論考なども収載。

<http://uesugi-museum.jp>



1,000円 A4版 136P

上杉本、東博模本、舟木本、
林原本、岐阜歴博本他掲載

■ミュージアムカフェ クルチュール

企画展「昭和の旅の記憶」の開催期間中（7/28～9/25）はカフェも「昭和の喫茶店」風に変身！氷水や昭和の米沢おやつセットなど、期間限定メニューをご提供し、ご好評頂きました。
これからの季節はカフェから見える紅葉もおすすめです。



レトロな雰囲気

H18.9.29開館5周年

当日博物館来館者には記念品
(ポストカード) 贈呈



春の特別展は
上杉景勝展



H19.10
ミュージアムショップにて
洛中洛外図屏風ミニチュア
発売開始

この頃、たびたびレース鳩が
迷い込み、飼い主にレース鳩
宅急便でお送りすることが
ありました。

H19 大河ドラマは「風林火山」。
出演者の来館もありました。



H19.11.20
博物館入館者50万人達成

垂れ幕が落下するというアクシデントも。

H19春 平成21年度の大河ドラマが
直江兼続主人公の「天地人」に決定。
特別展「直江兼続展」の開催中に知らせが。

H20.4
伝国の杜ファンクラブ発足

H20.6
米沢市マスコットキャラクター
「かねたん」誕生

伝国の杜に
遊びにくるよう
になりました。



誕生日は平成20年6月27日



H21.1.24~H22.1.11
天地人博2009

天地人博開幕直前。
雪の中、オープニング
妻夫木聡さん、北村一輝さん
を一目見ようと詰めかけた人々。

H21.10.26
博物館入館者
100万人達成(開館からの累計)

天地人博会会期中の達成となりました。



天地人博期間は
屏風の前は
いつも人だかり

入場者515,775人
全国から大勢のお客様にご来館頂きました。

H22.4 常設展示室リニューアルオープン
上杉文華館の位置が変わりました。

H23.3.16~4.15 東日本大震災の影響で臨時休館

H23.9.29 開館10周年

の杜 のあゆみ

■伝国の杜サポーター

歴史、美術、音楽、伝統文化など本物に触れながら人や地域と
つながることのできるボランティア活動です。
訪れる方への「おもてなし」の気持ちで伝国の杜の活動を支えて
くださる方を求めています。

音楽や舞台公演が好きなら
米沢が好きなら
伝国の杜を含む松が岬公園の
一帯をもっと元気にしたい方

観光インフォメーション

教育普及

広報

公演シブシブニスト

詳細はお問い合わせください。
26-8000 (サポーター担当)

歴史や美術が好きなら
人とふれあうことが好きな方
昔の遊びを今の子ども達に
教えたい方

■伝国の杜ファンクラブ

こんな方におすすめ！

- ☑博物館展示室に何度も入館したい。
- ☑ホールチケットを先行予約したい。割引価格で購入したい。
- ☑伝国の杜だよりなどの情報がほしい。
- ☑ミュージアムショップ・カフェをお得に利用したい。

年会費		
☐ 一般会員	2,500円	
☐ 学生会員	1,000円	
☐ ジュニア会員	500円	

- 申込方法：
ファンクラブ入会申込書に年会費を添えて、
伝国の杜事務室にてお申込ください。
- お問合せ 0238-26-8000

※会員期間は4月1日～翌年の3月末日までです。

3月1日～
次年度分入会受付

展覧会

教育普及事業

ホール

展覧会		教育普及事業		ホール
G: ギャラリートーク C: コレクショントーク (企画展示室展示解説) (常設展示室展示解説) 企画展示室 10/8(土) 開館10周年記念 ↓ 11/6(日) 特別展 洛中洛外図屏風に描かれた世界 休館日: 10/26(水) 講 10/9(日)13:30 G 10/8(土)14:00 10/16(日)13:30 10/22(土)14:00 ※2ページ参照 11/3(木祝)14:00 11/12(土) ↓ 1/15(日) 開館10周年記念 企画展 本間国雄展 一旅に生きる一 休館日: 11/24(木) 12月~1月 毎週月曜 (祝日の 場合翌日) 年末12/26~31 G 11/12(土)14:00 11/26(土)14:00 1/28(土) ↓ 3/4(日) 開館10周年記念 企画展 よみがえる赤羽刀 -米沢ゆかりの刀剣- 休館日: 毎週月曜 (祝日の 場合翌日)		○: 自由参加制ワークショップ(申込不要) ■: 募集制ワークショップ(要事前申込) 常設展示室 上杉文華館 ◇テーマ ◇文化を支える 9/29~10/7、 11/7~11/23 ※10/8~11/6は 特別展の一部に なります。 C 10/1(土)14:00 ◇お歳暮 11/25~12/25 C 11/26(土)14:00 ◇新春のお慶び 1/1~1/29 C 1/7(土)14:00 ◇武家として 1/31~2/26 C 2/4(土)14:00 ◇贈り物あれこれ 2/28~3/25 C 3/3(土)14:00 ◇贈り物が必要なとき 3/27~4/24 C 3/31(土)14:00 ■10/14(金)ナイトツアーようこそ夜の博物館へ 洛中洛外図をたのしむ ○10/16(日)むかしむかしをきこう ■10/29(土)洛中洛外図扇子をつくる ■10/30(日)和の時間 香るころ 香道 ○11/5(土)むかしむかしをきこう ■12/9(金)ナイトツアー ようこそ夜の博物館へ 本間国雄の世界 ○12/17(土)やじろべえをつくろう ■2/10(金)ナイトツアー ようこそ夜の博物館へ 刀剣の魅力に迫る		こども狂言クラブは1年を通して活動しています。見学や体験を希望される方は事前にご連絡ください。 10/2(日) 開館10周年記念 吹奏楽の日コンサート 10/8(土) 特別展オープニング連携事業 鈴木広志(Sax) ソロ・コンサート 10/16(日) 開館10周年記念 鈴木広志グループ・ライブ 「屏風から飛び出る音楽!」 10/16(日) 山形ふるさと塾フェスティバル (高島町)にこども狂言クラブ出演 11/3(木祝) 能楽講座「お能をたのしむ」 11/12(土) 開館10周年記念 金剛流能公演 100人の謡曲発表 こども狂言クラブ発表 12/3(土) 置賜こども芸術祭(長井市) にこども狂言クラブ出演 1/29(日) 親子で楽しむ音楽会 2/2(木) プラス・クインテット・ ウィーン=ベルリン 2/11(土祝) こども狂言クラブ 雪灯籠まつり出演 2/19(日) 桂歌丸独演会 3/20(火祝) こども狂言クラブ 春休み発表会

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」

室町時代 狩野永徳筆(左隻第五扇)

国宝 上杉本洛中洛外図屏風 原本展示

10/8(土)~11/6(日)

室町今出川近くの町屋の前に現れた猿回し。こども達が集まり、中には母に背負われた幼い子の姿も見えます。隣では食器のようなものを並べる店。人々の暮らしを活写した上杉本には市井の人々のさりげない日常の場面も多く描かれています。



◆利用案内◆

※休館日等は管理の都合上変更する場合がありますので詳細はお問合せ下さい。

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1

0238-26-8000(代 財) 米沢上杉文化振興財団)

0238-26-2660(FAX)

0238-26-8001(米沢市上杉博物館)

0238-26-2666(置賜文化ホール/チケット・施設利用)

ホームページ <http://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp>

ブログ <http://samidare.jp/denkoku>

博物館開館時間: 9:00-17:00(入館は16:30まで)

博物館休館日: 4月-11月 第4水曜日(休日の場合その直後の平日)

12月-3月 毎週月曜日(休日の場合その直後の平日)

年末(今年度は12/26-12/31)

※年始 1/1-1/3は休まず開館します。

ホール休館日: 毎週月曜日/年末年始(休日の場合その直後の平日)

博物館入館料: 常設展 一般400(320) 大高生200(140) 小中生100(60)

()は20名以上の団体料金 ※特別展・企画展は別途

※特別展「洛中洛外図屏風に描かれた世界」期間は
常設・企画一休型料金のため異なります。



「伝国の杜」の「伝国」という言葉は、米沢藩九代藩主上杉鷹山が天明5年(1785)上杉治広に家督を譲る際に藩主の心得として与えた「伝国の辞」に由来するものです。